

<h1>SDT</h1>	<h2>制振工学研究会通信</h2> <p>SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS</p> <p>2014年 3月号</p>	<p>2014年 3月 1日発行          編集：会報編集委員会          編集責任者：小白井 敏明          担当者：立石 覚          URL <a href="http://www.sdt-jp.com">http://www.sdt-jp.com</a>          E-Mail: <a href="mailto:info@sdt-jp.com">info@sdt-jp.com</a></p>
--------------	---	---

### ◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL: [yamagu@pc.highway.ne.jp](mailto:yamagu@pc.highway.ne.jp)

### ◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名 称	内 容
-	-	-	-

### ◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
14. 03.14 13:00~15:00	工学院大学新宿校舎 A-1711室	会報編集委員会・ホームページWG、会報編集委員会
14. 03.14 15:00~17:00	工学院大学新宿校舎 A-1711室	役員会
14. 03.20 10:00~17:00	日東紡音響エンジニアリング(株)第2研究所	利用技術分科会、建築における制振材料利用技術WG

### ◇会員消息 (2014年 03月 1日現在)

○会員数		○入・退会者
法人会員	28 社	-
個人会員	53 人	-
学生会員	3 人	-

### ◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
03.01	千葉工業大学津田沼キャンパス (千葉県習志野市)	第7回 CIT 音響フォーラム 環境問題としての風車騒音	千葉工業大学・音響工学フォーラム <a href="http://www.ince-j.or.jp/02/page/doc/7thCITsoundforum.pdf">http://www.ince-j.or.jp/02/page/doc/7thCITsoundforum.pdf</a>
03.04-06	キャンパスプラザ京都 (京都市下京区)	第5回 日本複合材料会議	日本材料学会 <a href="http://www.jsms.jp/index_4.html">http://www.jsms.jp/index_4.html</a>
03.07	東大生研 (東京都目黒区)	技術講習会(第90回) 防音・防振材の使い方と対策事例	日本騒音制御工学会 <a href="http://www.ince-j.or.jp/02/page/02_b.html">http://www.ince-j.or.jp/02/page/02_b.html</a>
03.07	東大生研 (東京都目黒区)	シンポジウム 「自動車を支える最新の空力技術」	自動車技術会 <a href="http://www.jsae.or.jp/tops/topic.php?code=1139">http://www.jsae.or.jp/tops/topic.php?code=1139</a>
03.10-12	日大理工学部駿河台キャンパス (東京都千代田区)	2014年春季研究発表会	日本音響学会 <a href="http://www.asj.gr.jp/annualmeeting/index.html">http://www.asj.gr.jp/annualmeeting/index.html</a>
03.03.12	東京電業会館地下ホール (東京都港区)	第200回記念コムシンポジウム 新たな特性を実現させるための配合技術Ⅲ ～原材料の活用 構造制御と物性発現～	日本ゴム協会 <a href="http://www.srij.or.jp/news/ite/pdf/event_13112002.pdf">http://www.srij.or.jp/news/ite/pdf/event_13112002.pdf</a>
03.14	東工大蔵前会館ロイヤルホール (東京都目黒区)	ポリマーフロンティア21 高分子材料の最新シミュレーション技術 ～マルチスケールシミュレーション最前線～	高分子学会 <a href="http://main.spsj.or.jp/c7/c13/g140314_pf21.pdf">http://main.spsj.or.jp/c7/c13/g140314_pf21.pdf</a>
03.18-19	東洋大学白山キャンパス (東京都文京区)	IIP2014 情報・知能・精密部門講演会	日本機械学会 <a href="http://www.jsme.or.jp/iip/Japanese/Events/Data/2013/140318_annai.html">http://www.jsme.or.jp/iip/Japanese/Events/Data/2013/140318_annai.html</a>

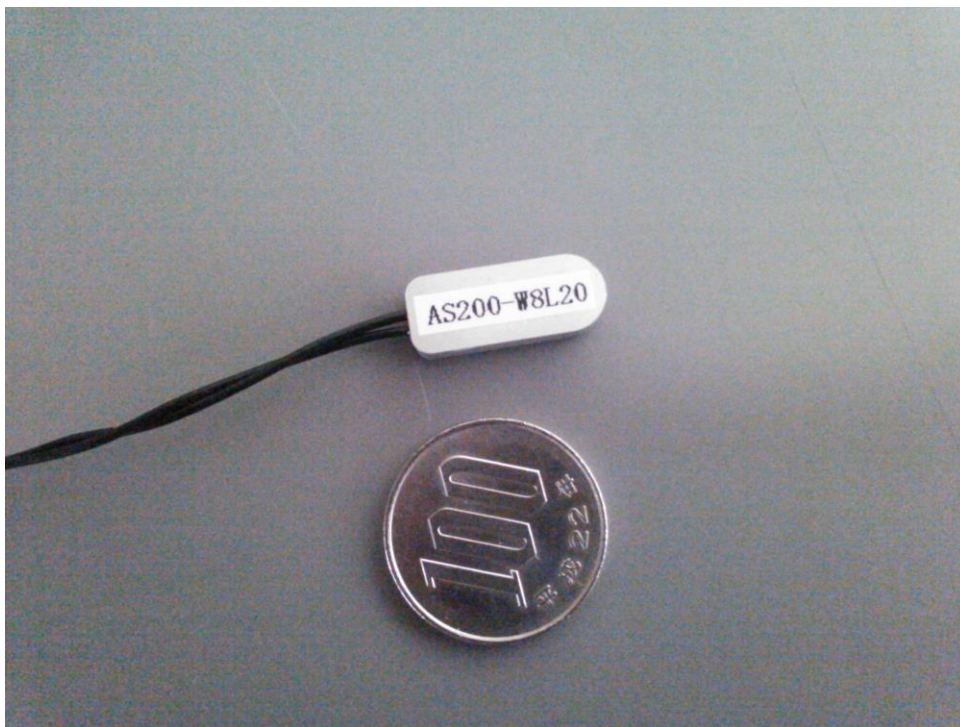
(次ページに続く)

## ピエゾフィルム型振動インテンシティプローブのご紹介

### 技術概要

本製品は圧電型の薄膜を用いて製作したプリアンプ内蔵の高感度、低ノイズかつ応答性に優れた小型軽量タイプの振動インテンシティプローブであり、瞬時インテンシティや構造インテンシティの解析に対応可能で、従来方式では計測が困難な狭い場所を含め、プラントや構造物の振動計測に適した形状・性能を有しているのが特徴です。世界初のピエゾフィルムを用いた振動インテンシティプローブで、AD コンバータに直接接続して解析が可能で、次の特徴があります。

- ・ 小型薄型なので狭隘な設置場所でも測定できる。
- ・ 軽量なので被測定物に影響を与えない。
- ・ センサ感度、S/N特性、周波数特性とも従来の圧電素子に比べ同等以上の性能を有している。



ピエゾフィルム型振動インテンシティプローブの外観

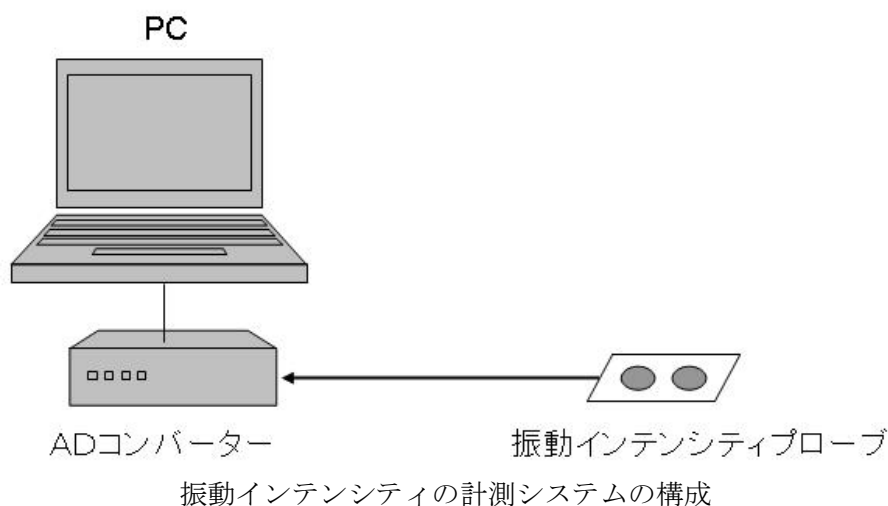
### (性能・特性等)

- ・ 高い周波数領域まで伸びたフラットな周波数特性なため、感度補正が不要。
- ・ 低ノイズ特性のため、低い振動レベルまで計測可能。
- ・ 素子の応答性が速く、高調波成分が少ない。
- ・ 2つの振動素子から構成され、金属性ケースを用いた軽量タイプ。



振動インテンシティプローブの全体図

- ・ プリアンプ内臓型のため、DC電源供給可能なA/Dコンバータや計測器に直接、接続して使用可能です。



用途としては、瞬時インテンシティ計測による振動源の探査、またFFTによる構造インテンシティ計測・解析等に応用可能です。  
なお、詳細性能や本振動センサに対応したPC用構造インテンシティ解析ソフトについては下記にお問い合わせ下さい。

本製品に関するお問い合わせはこちら

株式会社 テクノコア 開発センター  
〒334-0058 埼玉県川口市安行領家1220-5  
TEL (代表) (048)291-1001, FAX (048)291-1004  
E-mail: contact@technocore.jp